

2019年夏季特別展1

謎の蒔絵師

永田友治

— 尾形光琳の後継者を名乗った男 —

Discovering Nagata Yūji,
Unsung *Makie* Master

青子方視



金書子

繪
系
永田友治
永田友治

永田友治

2019 6.8sat – 7.15mon

MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300
TEL.0748-82-3411 <http://miho.jp>

植鹿蒔絵菓子重 江戸時代 18世紀 撮影 森 仁

永田友治は、江戸時代中期、正徳・享保年間(一七一―一七三六)ころ京都で活躍した琳派の蒔絵師と伝えられています。その実像ははっきりとしていません。しかし、彼の作品は尾形光琳風の意匠に倣い、独特の「青漆(緑色系)」や「友治上げ」と呼ばれる錫粉を使った高蒔絵を用いる独創的なもので、漆工芸史上にしっかりとその足跡を残しています。しかも、彼は尾形光琳を真似た「方祝」の円印や、光琳の号「青々」に「子」を加えた「青々子」を使用するなど、光琳の後継を強く意識した名作に作品に残しているのです。

今回の調査により、江戸中期に京都と大坂を拠点としていた彼の活動が、おぼろげながら見えてきました。そこで、本展では彼の作品をできるだけ多く集め、今後の研究の基礎資料を提供すると共に、その魅力と秘密を科学分析の成果も交えて紹介いたします。知られざる謎の蒔絵師・永田友治にせまる初めての展覧会をどうぞご覧ください。



①「模鹿蒔絵螺鈿紙箱・硯箱」江戸時代 18世紀 京都国立博物館
 ②「つぼつ蒔絵盃」江戸時代 18世紀 個人蔵 ③「のぼり舟蒔絵三組盃」江戸時代 18世紀 個人蔵
 ④「青漆藤娘蒔絵盃」江戸時代 18世紀 個人蔵 ⑤「宝船蒔絵盃」江戸時代 18世紀 個人蔵
 ⑥「蝶蒔絵螺鈿板文庫(部分)」江戸時代 18世紀 個人蔵 ※会期中に一部展示替えあり

イベント情報 詳細はホームページをご覧ください <http://miho.jp>

講演会「謎の蒔絵師 永田友治」

講演者：高尾 曜 (国立能楽堂 事業推進課 調査資料係長)

- 日時：6月30日(日) 13:30 ~ 15:00 (予定)
- 会場：南レクチャーホール ●定員：100名
- 予約不要：当日美術館棟受付にて整理券配布
- 参加無料 (入館料要)

ギャラリートーク

学芸員：桑原康郎

- 日時：6月8日(土) / 6月22日(土) / 7月13日(土)
13:00 ~ 14:00 (予定) ●定員：20名程度
- 予約不要：当日美術館棟エントランス集合
- 参加無料 (入館料要)

次回予告

2019年夏季特別展II 2019年7月27日(土)~9月1日(日)

紫香楽宮と甲賀の神仏

—紫香楽宮・甲賀寺と甲賀の造形—

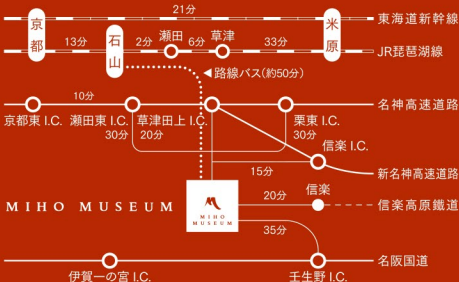
単弁蓮華文軒丸瓦 甲賀寺跡
 【史跡紫香楽宮跡(寺院跡)内裏野地区】
 出土 甲賀市教育委員会



アクセス

タクシー利用：JR「石山」・「瀬田」・「草津」各駅より35分、信楽高原鐵道「信楽駅」より20分

高速道路利用：新名神「信楽I.C.」より15分、「草津田上I.C.」より20分、名神「栗東I.C.」/京滋バイパス「瀬田東I.C.」より各30分、名阪国道「壬生野I.C.」より35分



交通 ※バス時刻は変更されることがあります。

JR琵琶湖線 石山駅 発 ▶ 産楽バス「MIHO MUSEUM 行き」(所要時間50分)	平日	9:10	10:10	11:10	12:10	13:10	
	土日祝	9:10	9:50	10:10	11:10	12:10	13:10 14:10
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR 石山 行き」		11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:07 17:14
信楽高原鐵道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑・陶芸の森ルート」(所要時間20分)		10:50	14:50				
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面		11:10	12:20		13:30		15:10

主催：MIHO MUSEUM、**京都新聞**

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、**NHK**大阪放送局
朝日放送、エフエム京都、帝産湖南交通

開館時間：午前10時~午後5時(入館は午後4時まで)

休館日：月曜日 ※7月15日は開館

入館料：一般1,100円、高・大生800円、小・中生300円
 (20名以上の団体は各200円割引)

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300

Tel.(0748)82-3411 Fax.(0748)82-3414

<http://miho.jp>(パソコン、携帯電話共通)

MIHO MUSEUM